

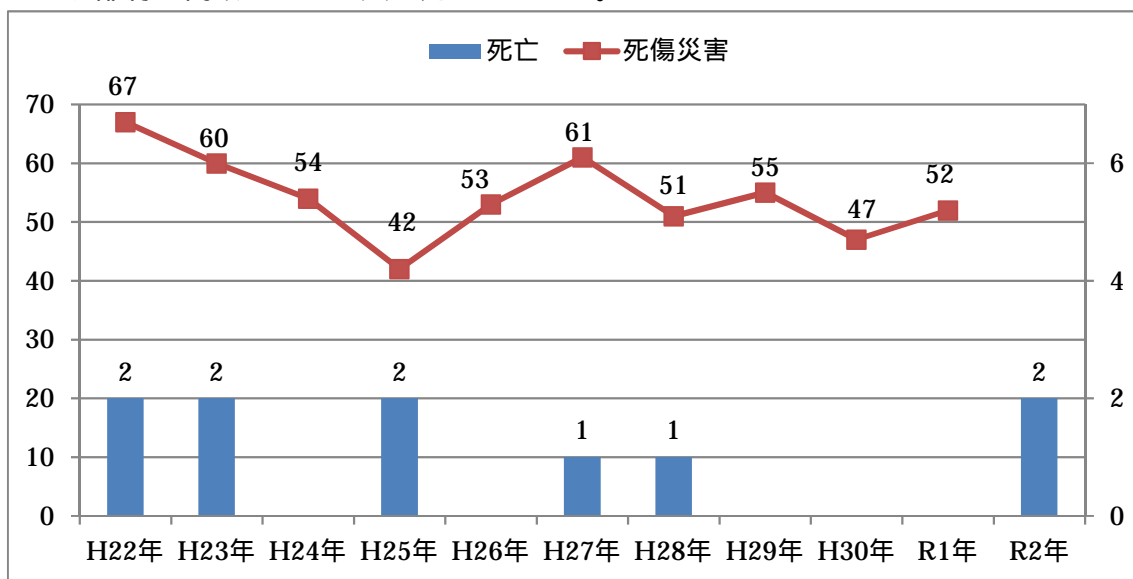
令和2年8月

造船業における労働災害（休業4日以上）の発生状況

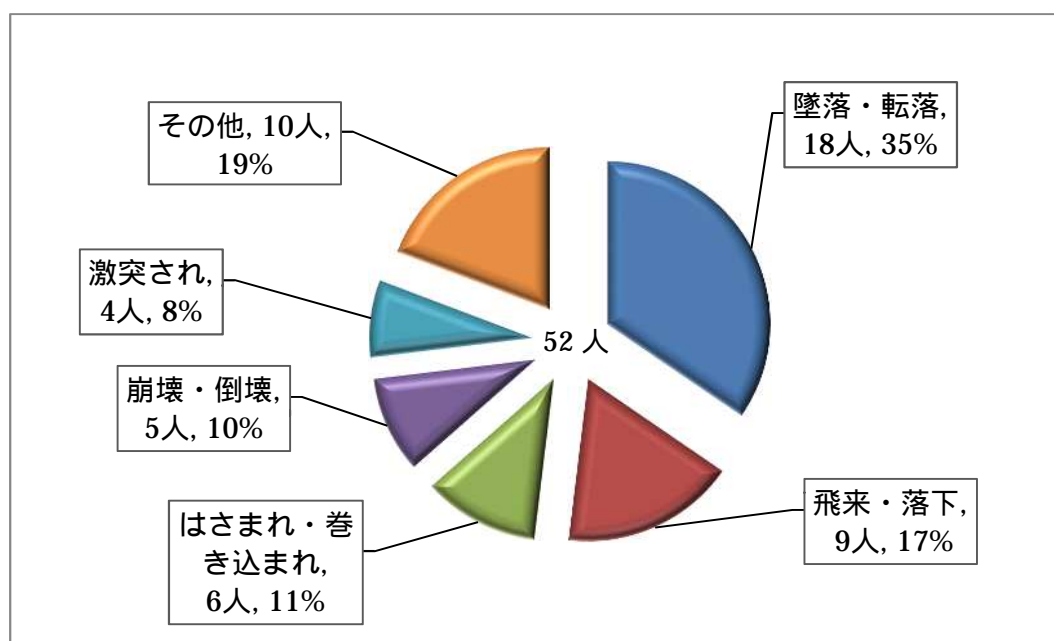
愛媛労働局

1 年別発生状況（平成22年以降）

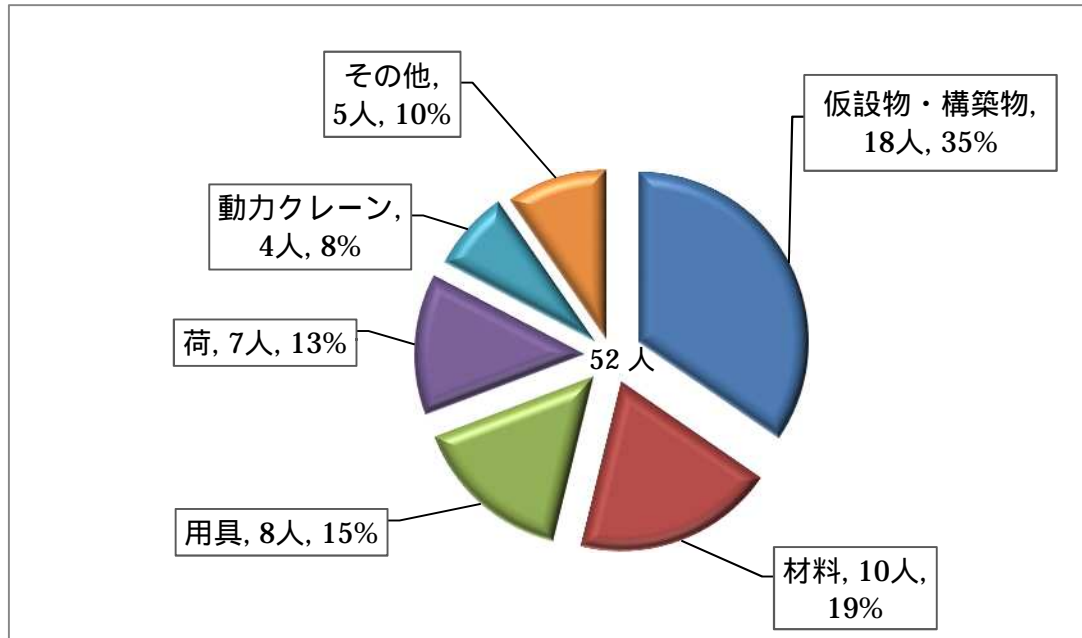
愛媛県における造船業の労働災害（休業4日以上）は、平成25年までは減少傾向にあったが、平成26年以降は増減を繰り返し50人程度で推移しており、令和2年は7月末現在29人で対前年比2人増加（+7.4%）となっている。死亡災害は、平成29年から令和元年の間は発生しなかったが、令和2年7月に船体ブロック部材の倒壊により2人が死亡しました。



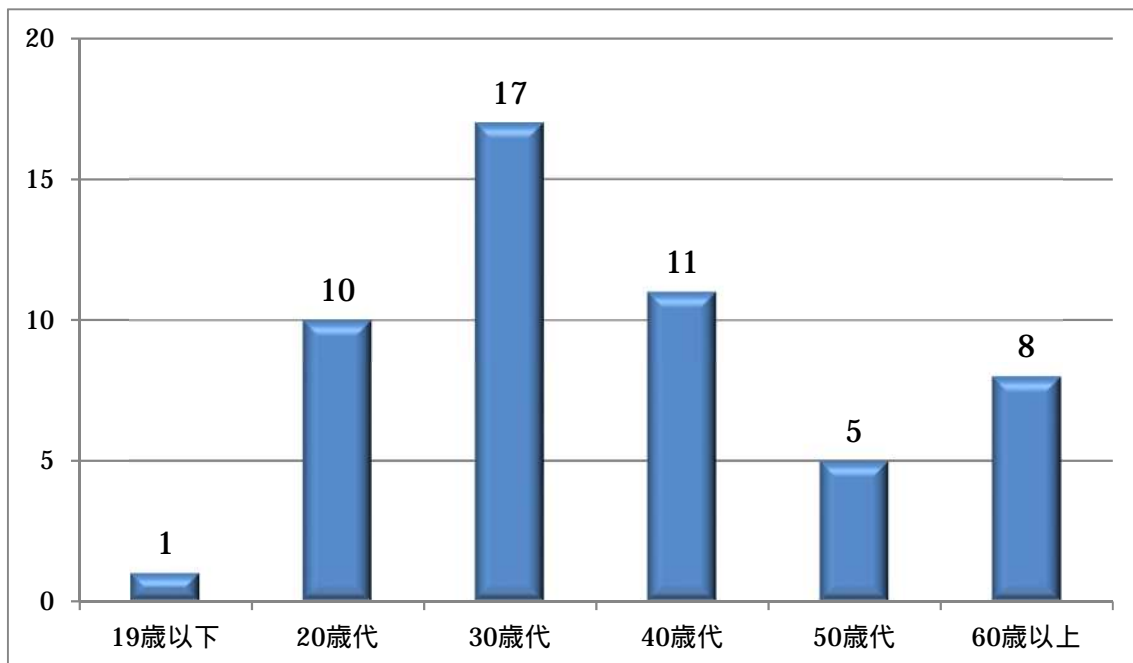
2 事故の型別死傷災害発生状況（造船業、令和元年）



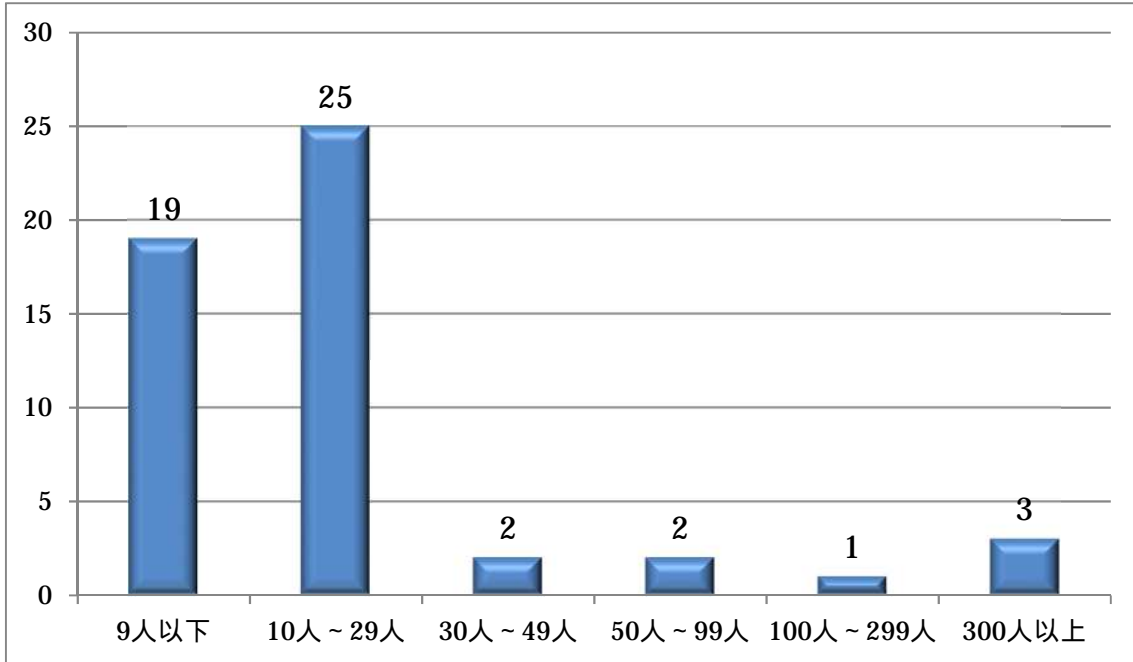
3 起因物別死傷災害発生状況（造船業、令和元年）



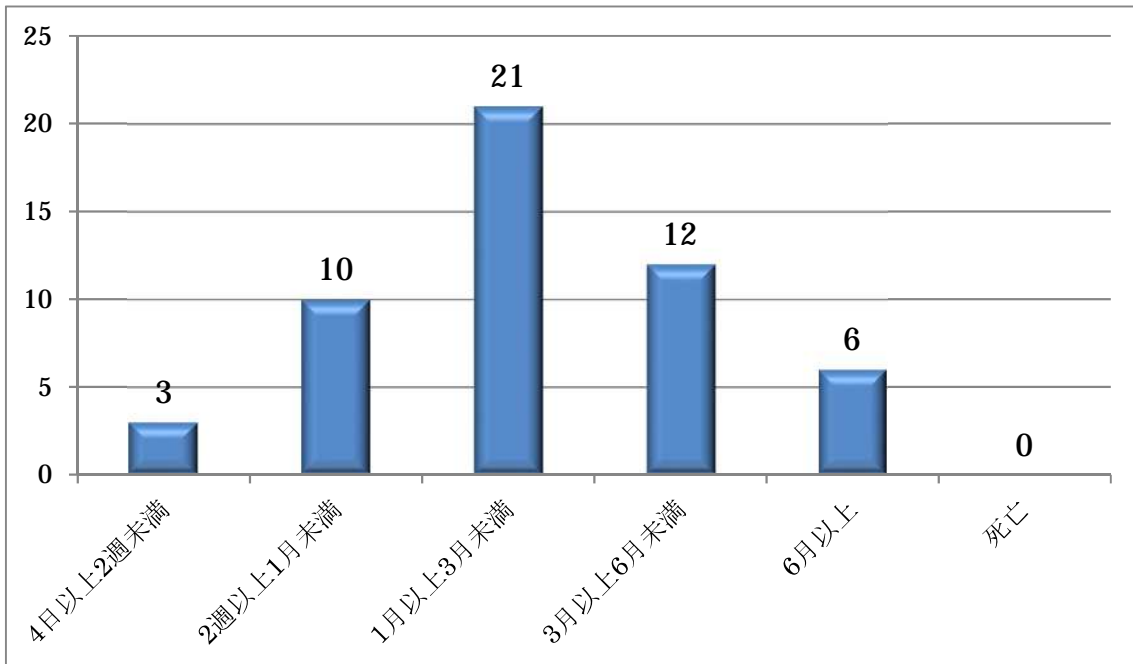
4 年齢別死傷災害発生状況（造船業、令和元年）



5 事業場規模別死傷災害発生状況（造船業、令和元年）



6 災害程度別（休業見込み日数）死傷災害発生状況（造船業、令和元年）



造船業の死亡災害事例（平成 27 年以降）

発生年月	災害発生状況	事故の型 起因物
平成 27 年 7 月	ジブクレーンで鋼板をつり上げ、クレーンを走行し、ジブを旋回しながら鋼板を降下させている途中で、吊り荷の鋼板が落下し、下方で荷の受け入れのため待機していた被災者に激突した。（20 歳代、男性）	落下 荷
平成 28 年 9 月	ドック内で建造中の船舶で、部品を持って移動中に、高さ 28 メートルの船体ブロックのアップパーデッキの手すりを越えて、地上に落下した。（30 歳代、男性）	墜落 構築物
令和 2 年 7 月	鉄板の部材を船体ブロックに取り付けるため、当該部材の両側をレバーブロックで船体ブロックに固定し溶接位置を決める作業中、被災者に部材が倒れた。（40 歳代、男性）	倒壊 構築物
令和 2 年 7 月	船体ブロックの部材を仮置きし、部材の溶接作業を行っていたところ、設置位置がずれていたため、調整を行っていたとき、被災者に当該部材が倒れた。（40 歳代、男性）	倒壊 構築物